

平成 2 9 年度
内灘町地球温暖化対策実行計画
進捗状況報告書
(区域施策編)

令和 3 年 3 月

石川県内灘町

目 次

(平成29年度)

1. 温室効果ガスの削減効果	1
2. 温室効果ガス排出実績一覧	1
3. 部門別温室効果ガス排出量	2
4. 部門別温室効果ガス排出量（平成29年度内訳）	3
5. 温室効果ガスの排出量推移グラフ	4
6. まとめ	4

平成29年度内灘町温室効果ガス削減効果

1. 温室効果ガス削減効果

内灘町の平成29年度（2017年度）の温室効果ガス排出量は、167,507 t-CO₂/年でした。目標達成まで 40,240 t-CO₂/年の削減が必要です。

表 1

年度	排出量
目標（平成2(1990)年度相当）	127,267 t-CO ₂ /年
対象年度 平成29(2017)年度	167,507 t-CO ₂ /年
目標までの必要削減量	40,240 t-CO ₂ /年

注 電気の排出係数は実行計画策定時が 0.432、平成29(2017)年度が 0.574 でした。

2. 温室効果ガス排出実績一覧 ※1

表 2

(単位：t-CO₂/年)

	平成2年度 (1990)	平成20年度 (2008)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2016)	対象年度	
						前年度からの 増減量	前年度比
ガソリン	20,917	30,994	29,859	30,045	28,305	-1,740	-5.8%
灯油	11,543	14,160	11,497	11,652	10,498	-1,154	-9.9%
軽油	19,417	19,159	17,134	17,037	16,922	-115	-0.7%
重油	22,072	19,081	15,035	15,815	17,356	1,541	9.7%
ガス	8,353	9,963	10,470	9,308	11,366	2,058	22.1%
電気	35,986	56,685	88,398	86,839	76,911	-9,928	-11.4%
メタン※2	7,946	6,292	5,097	4,989	4,878	-111	-2.2%
一酸化二窒素※ 2	158	143	120	119	123	4	3.4%
HFC※2	822	1,022	1,142	1,148	1,148	0	0.0%
合計	127,267 (目標値)	157,587	178,751	176,953	167,507	-9,446	-5.3%
目標までの 必要削減量		30,320	51,484	49,686	40,240		

※1 端数処理のため、実際の数値とは若干異なります。

※2 各ガスの排出量に地球温暖化係数を乗じて、二酸化炭素に換算した値。

3. 部門別温室効果ガス排出量

表 3

(単位：t-CO₂/年)

	平成 2 年度 (1990)	平成 20 年度 (2008)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	対象年度		
						前年度比	2008 年度比	基準年度比
産業部門	23,614	17,561	16,179	18,186	16,662	-8.4%	-5.1%	-29.4%
家庭部門	28,101	43,514	69,628	63,154	62,490	-1.1%	43.6%	122.4%
業務部門	28,452	15,539	15,881	17,703	12,269	-30.1%	-21.0%	38.9%
医科大		24,960	26,044	27,001	27,252	0.9%	9.2%	
運輸部門	38,174	48,556	44,660	44,652	42,685	-4.4%	-12.1%	11.8%
小計	118,341	150,130	172,393	170,696	161,358	-5.5%	7.5%	36.4%
非エネルギー起源 温室効果ガス	8,926	7,457	6,358	6,257	6,149	-1.7%	-17.5%	-31.1%
	127,267 (目標値)	157,587	178,751	176,953	167,507	-5.3%	6.3%	31.6%

〈前年度からの主な変動要因〉

産業部門 : ガソリン、灯油使用量の減少

業務部門 : LP ガス、電力使用量の減少

4. 部門別温室効果ガス排出量（平成29年度内訳）

●エネルギー起源温室効果ガス排出量

表4-1

	燃料				L P G	電力	合計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油			
排出係数 (単位)	0.0671 (t-CO ₂ /GJ)	0.0678 (t-CO ₂ /GJ)	0.0686 (t-CO ₂ /GJ)	0.0693 (t-CO ₂ /GJ)	0.0598 (t-CO ₂ /GJ)	0.624 (t-CO ₂ /MWh)	
産業部門	278	808	869	2,785	1,690	10,231	16,662
家庭部門	0	7,918	0	0	8,802	45,770	62,490
業務その他部門	0	1,772	1,485	2,090	722	6,200	12,269
金沢医科大学	0	0	0	12,481	61	14,710	27,252
運輸部門	28,027	0	14,568	0	91	0	42,685
合計	28,305	10,498	16,922	17,356	11,366	76,911	①161,358

●非エネルギー起源温室効果ガス排出量

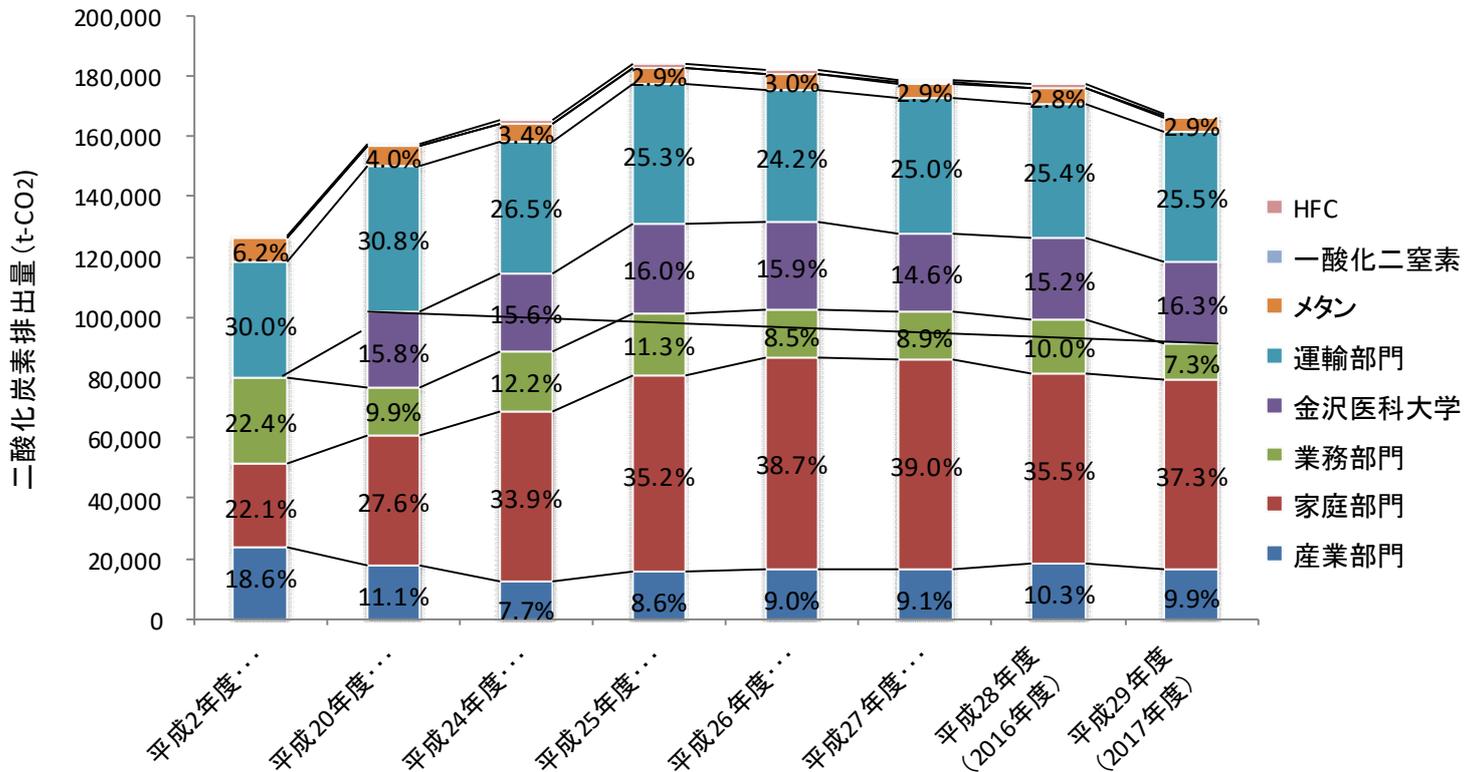
表4-2

平成29年度(2017年度)	温室効果ガス	排出量(t)	CO ₂ 換算
排水処理	メタン	2.35	49.27
排水処理	一酸化二窒素	0.40	122.66
水田	メタン	14.72	309.12
家畜の飼養	メタン	140.26	2,945.50
家畜の排せつ物の管理	メタン	74.97	1,574.46
冷蔵庫使用時の漏洩	HFC	0.0042	15.89
カーエアコン使用時の漏洩	HFC	0.2980	1,132.53
排出量合計			②6,149.43

平成29年度温室効果ガス排出量

$$\textcircled{1} 161,358 \text{ t-CO}_2/\text{年} + \textcircled{2} 6,149.43 \text{ t-CO}_2/\text{年} = 167,507.43 \text{ t-CO}_2/\text{年}$$

5. 温室効果ガスの排出量推移グラフ



6. まとめ

内灘町の平成29年度（2017年度）の温室効果ガス排出量は、167,507（t-CO₂/年）で、前年比5.3%の減少となっています。大きな要因としては、産業部門のガソリン使用量が前年比12.4%、灯油使用量が前年比19.0%減少していることや、民生業務部門の電力使用量が前年比33.6%減少していること等があげられます。しかしながら、全体では議定書基準年比で31.6%増加しています。目標達成まで40,240（t-CO₂/年）の削減が必要です。

本町では、家庭部門が全体の約4割を占めることから町民へ地球温暖化対策に向けて啓発していくことが重要になります。引き続き、ごみの減量化、リサイクルの推進、再生エネルギーの活用等に向けて町民の理解や協力が得られるように努めていく必要があります。